

別記様式第1号の2の2の2の2（第4条の2、第51条の11の3関係）

(1) □防火 (2) □防火
統括 □防災 管理者選任（解任）届出書

					(3) 年 月 日			
広島市 消防署長 殿					(5) 管理権原者			
(4)					住 所			
					氏 名（法人の場合は、名称及び代表者氏名）			
					電話番号			
(1) 下記のとおり、統括					(2) 管理者を選任（解任）したので届け出ます。			
					記			
防火 対象 物	建築物 その他 の工作 物	所 在 地		(6)				
		名 称		(7) 電話（ ）				
		用 途		(8)		令別表第1	(9) （ ）項	
		種 別		□ 甲 種 □ 乙 種		収 容 人 員	(11)	
統括 防火 ・ 防災 管 理 者	選 任 格	氏 名（フリガナ）		(12)				
		住 所		(13)				
		選 任 年 月 日		(14) 年 月 日				
		(15) 資 格	講 習	種 別	□防火管理（□甲種 □乙種）		□ 防災管理	
				講 習 機 関				
				修了年月日	年 月 日		年 月 日	
		そ の 他		□令第3条第1項第（ ）号（ ）		□令第47条第1項第（ ）号		
				□規則第2条第（ ）号		□規則第51条の5第（ ）号		
		解 任	氏 名		(16)			
			解 任 年 月 日		(17) 年 月 日			
解 任 理 由			(18)					
そ の 他 必 要 事 項				(19)				
受 付 欄※				経 過 欄※				

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 □印のある欄については、該当の□印にレを付けること。
3 統括防火・防災管理者の資格を証する書面を添付すること。
4 ※印の欄は、記入しないこと。

統括防火・防災管理者選任（解任）届出書記入要領

項目	記入要領
(1) 防火・防災	該当するものの□印にレを記入
(2) 選任（解任）	該当しない文字を——で抹消
(3) 年月日	届出書の提出（申請）年月日を記入（郵送の場合は投函年月日を記入）
(4) 宛先	防火対象物を所轄する消防署長宛
(5) 管理権原者	1 連名の場合は、別紙のとおりと記入し、管理権原者の一覧表を添付 2 主要な者等とする場合は、「●●ビル共同防火管理組合協議会 代表●●」等と記載し、管理権原者として選任義務を果たしている旨を確認できる書類を添付 ※ 法人の場合は、法人の名称及び代表者の職・氏名を記入
(6) 所在地	当該防火対象物の所在地を記入
(7) 名称	当該防火対象物の名称及び電話番号を記入
(8) 用途	当該防火対象物の用途を政令別表第1に掲げる用途等により記入
(9) 令別表第1	前(8)の欄に記載した当該防火対象物の用途を政令別表第1に掲げる用途区分及び項区分により記入
(10) 種別	政令第3条に定める防火対象物の区分について、該当する方の□印にレを記入
(11) 収容人員	規則第1条の3の算定基準により算定した防火対象物の全体の収容人員を記入
(12) 氏名（フリガナ）	統括防火・防災管理者となる方の氏名とフリガナを記入
(13) 住所	統括防火・防災管理者となる方の現住所を記入
(14) 選任年月日	管理権原者から当該防火対象物の統括防火・防災管理者として選任された年月日（不明な場合は届出年月日）を記入
(15) 資格	【種別】 1 統括防火管理者の届出の場合 統括防火管理者が受講した講習種別を左欄の甲種又は乙種の該当する方の□印にレを記入 2 統括防災管理者の届出の場合 右欄の□印にレを記入 3 統括防火管理者及び統括防災管理者の届出の場合：左欄の甲種又は乙種の該当する講習種別及び右欄の□印にレを記入 ※ いずれの場合も、講習の受講以外で資格を取得した場合は、記入は不要 【講習機関】 防火・防災管理講習を受けた機関名を記入 【終了年月日】 講習を受けた修了証に記載されている修了年月日を記入（再講習を受講している場合は、最後に受講した修了証に記載されている修了年月日を記入） 【その他】 講習修了以外の資格者で選任する場合は、該当する□印にレを付け、根拠法条を記入
(16) 氏名	前任の統括防火・防災管理者の氏名を記入
(17) 解任年月日	統括防火・防災管理者でなくなった年月日（不明な場合は届出年月日）を記入
(18) 解任理由	「転勤」、「退職」など具体的に記入
(19) その他必要事項	1 新たに統括防火・防災管理者が必要になった理由等を簡潔に記入 2 管理権原者の一部変更があったことによる届出の場合は、その旨を記入 3 その他必要な事項を記入